

愛知県が開発した小麦新品種

「きぬあかり」

—色が明るく、なめらかで、コシのあるうどんができます—

—愛知県小麦の主力品種として、作付拡大が期待されています—



登録商標第5667486号

開発の背景・ねらい

- 愛知県では、「農林61号」と「イワイノダイチ」の2品種の小麦が栽培されてきました。
- 従来品種には、収穫期が梅雨と重なり刈り遅れになりやすいことや、倒れやすいといった栽培面での欠点、コシの強いうどんが作りにくいといった品質面での欠点がありました。
- 愛知県農業総合試験場では、2000年(H12)から、これらの欠点を克服し、収量が多く、高品質な小麦の品種改良に取り組みました。
- 2011年(H23)に、日本めん（うどん、きしめん等）に適した小麦新品種「きぬあかり」として品種登録されました。

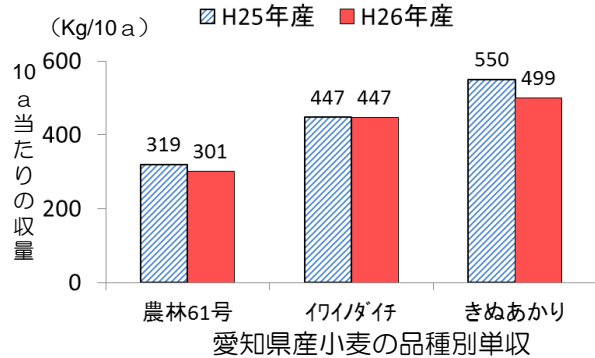


小麦新品種「きぬあかり」

「きぬあかり」の品種特徴

●栽培面から見た特徴

- 穂が長く、収量が大変多い品種です。
- 出穂（穂が出る）や収穫時期が「農林61号」より4日程度早いです。
- 茎は、短く、太いので倒れにくいです。
- 湿ったほ場でも栽培できますので、水田転作を利用した栽培に適しています。
- コムギ縞萎縮（しまいしゆく）病に強い品種です。



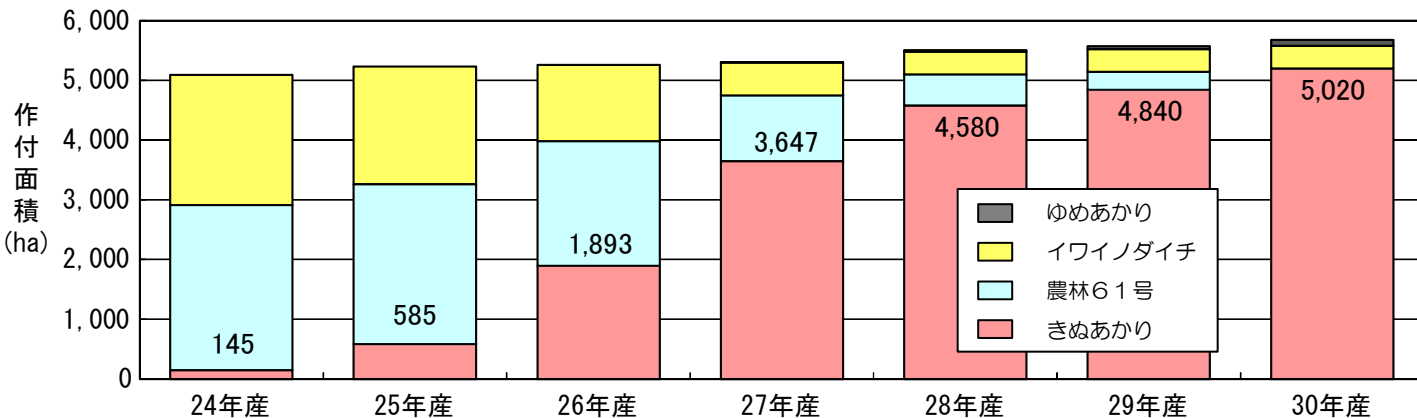
●加工面から見た特徴

- 日本めんに適した生地の強さとめんのコシが出ます。
- ゆでめんの食感（弾力性・滑らかさ・かたさ）に優れています。
- めんの色が明るい黄味を帯びます。



これからの作付計画

- 「きぬあかり」を愛知県の主力品種として位置づけ、作付を拡大していきます。
- 「農林61号」は、平成30年までに「きぬあかり」に全面的に切り替えます。
- 「イワイノダイチ」は、「きぬあかり」に段階的に切り替えることとします。



愛知県産小麦の作付計画

出典：愛知県麦民間流通地方連絡協議会資料